



尾道市立重井小学校教育研究構想

学校教育目標

確かな学力と豊かな心を備えた 心身共にたくましい児童(重井の健児)の育成

めざす子ども像

学び合い、
努力する子

豊かな心で
ふるさとを愛する子

健康を守り、
体力を伸ばす子

育てたい資質能力

○聞く しっかり考える 自分の考えや思いを伝える

○重井のことを知る かかわりをもつ 課題意識を持つ 郷土の一員としての意識

研究主題

「思考力・表現力」を育成する授業の創造

～児童の「問い」を出発点にして～

研究仮説

教師の工夫で児童の「問い」を授業の出発点にすることで、問題解決の過程を重視した授業を行えば、各教科における思考力と表現力を育成することができるであろう。

国語科を中心として

- ① 「問い」を立てる時間の設定
- ② 「問い」の吟味と取捨選択, キーセンテンス(読みを深めるための手立て)への着目, 「問い」の振り返り
- ③ 付けたい力, 教材の特性, 児童の実態をもとに言語活動を設定
劇・ポスター・プレゼンテーション・クイズ・すごろく・リーフレット等

算数科を中心として

- ① 「ズレ」を利用して, 児童に「問い」をもたせる工夫
- ② 児童が数学的な見方・考え方を働かせる授業の充実
- ③ 友達の考えの解釈
○○さんの言いたいことが分かる?
この式はどういう意味かな?

基礎基本の定着

学習規律 朝読書 ドリルタイム 家庭学習 ふりかえり

授業実践

PDCA サイクルに基づいた授業改善
学年間や系統性を意識した校内研修